

# 介護ステーション ぶらんち ニュースレター

Vol. 88

令和6年4月号

## 心地よい季節がやって来た！

今年の桜は、あっという間に散った…  
やっと咲いたと思ったら、あっという間に散りさり葉桜になった。  
本当に、花の命は短くて…でした。  
さて、先日、「本屋大賞」の発表がありました。  
第1位は「成瀬は天下を取りに行く」  
主人公 成瀬が諦めず、事に挑んでいく様子が  
とても清々しく、勇気をもらえる作品。  
今、いろいろな事が起り、  
情報もたくさんあり過ぎる中、  
頭で考えすぎたり、心配し過ぎて、  
また、失敗を非常に嫌がってしまい、  
やってみる、動いてみる、  
ということが、出来なくなっている人が多いような気がします。  
始めから100%を求め無くていい。  
まずは、やってみる、動いてみる、が必要で、  
違っていたら、修正すればいい。  
そのために、間違ったら謝り、人の言葉に耳を傾け、  
再度、トライしていく。  
失敗を暖かく見守れる職場をみんなで創っていきたい、と考えています。

## 介護業界を盛り上げよう！！

加算や補助金・助成金がどんどん出て来てる

処遇改善・ペースアップ・特定事業所の3つの加算  
が1本化し、4月15日締切で書類提出。  
この書類の様式発表があったのが、3月25日。  
またもや、ぎりぎりでの書類作成でした。  
この加算の結果で、ご利用者様には、  
単価表一覧へのサイン・捺印をして頂く事になります。  
また、東京都では、単価が下がった分、スタッフへの  
賃金を維持するための助成金があり、  
4月19日締切での提出。  
今度は、介護業界のDX化のために、  
事務・現場のDX化推進のために関わった人財への  
補助金が6月に出されることになりました。  
弊社もDX化したいこと、多々ありますので、  
スタッフと相談しながら、この補助金も獲得し、  
スタッフへそのお金を分配していきたい。  
今の流れは、改善・発展したいのもについて、おのとの計画書を提出し、その結果に対して報酬を得る  
一見当たり前ですが、今までの介護業界は一律に  
報酬が頂けましたが、今後は  
計画があってその結果に対しての報酬と  
書類の作成能力が求められていくように変わったと  
感じます。この書類作成能力が今後のみそ！



## ぶらんちの今を紹介

今月は2名のスタッフが仲間になりました。

宮沢星人さん  
高木郁乃さん

宮沢さんは長野県生まれ  
大阪で訪問介護を経験されています。

高木さんはあるご利用者様のみの担当です。

藤木さんは3月末で、両親の住んでいた家に  
移り住みされ、通えなくなり、退職されました。

お別れ路、出会いの季節ですね。

さて、震災に備えるで、  
こちらのサイトを見てみると、自身の住んでいる家  
がどのくらいの崩壊リスクがあるか、がわかり、  
自信の状況によって備える荷物等のパッケージ  
がわかります。  
ひとつの目安になりますので、参考にして  
みてください。

<https://pasobo.jp>